

事業名：海外技術の導入によるトラウトサーモン用低魚粉高効率飼料の実証試験

実施機関名：高タンパク植物タンパク原料の導入によるトラウトサーモン用低魚粉高効率飼料の実証試験共同実施機関

代表機関名：スクレッティング株式会社 構成機関名：日本サーモンファーム株式会社

目標

国内で未だ注目されていない植物性タンパク原料の確立

【課題】飼料原料に占める魚粉含有量が多い

一般的な飼料の魚粉含有量は40-50%

魚粉は市場価格と供給量が不安定

- 現状、魚粉依存型から脱却できずにいる
- 世界では養殖生産量が増加し、魚粉の需要が増加
- 魚粉原魚は天然漁業に依存し、供給と価格が乱高下
- 養殖先進国では高タンパク植物タンパク原料の活用を確立
- 日本の植物原料は低タンパクな大豆油粕が主体

今回の実証試験

【実証】国内で未だ注目されていない植物性タンパク原料の確立

植物タンパク原料の代替可能性を探る
(日本で活用実績が少ない)

動物性タンパク原料を一部活用

植物タンパク原料+動物性タンパクで魚の成長を検証

- 新規の高タンパクな植物原料を導入
- 一部、動物性タンパク原料を活用し、低魚粉化への段階的な移行
- 2年目には飼料効率を追った配合設計
- 生産者の経営計画を考慮した成長を実現検証

【目標】国内で未だ注目されていない植物性タンパク原料の確立

未活用植物タンパクの活用活性化

日本の養殖魚の競争力強化

- 日本国内での新規植物タンパク原料の導入の契機
- 生産コストの安定化
- 飼料効率の向上
- 養殖魚の効率的な生産体制で競争力強化